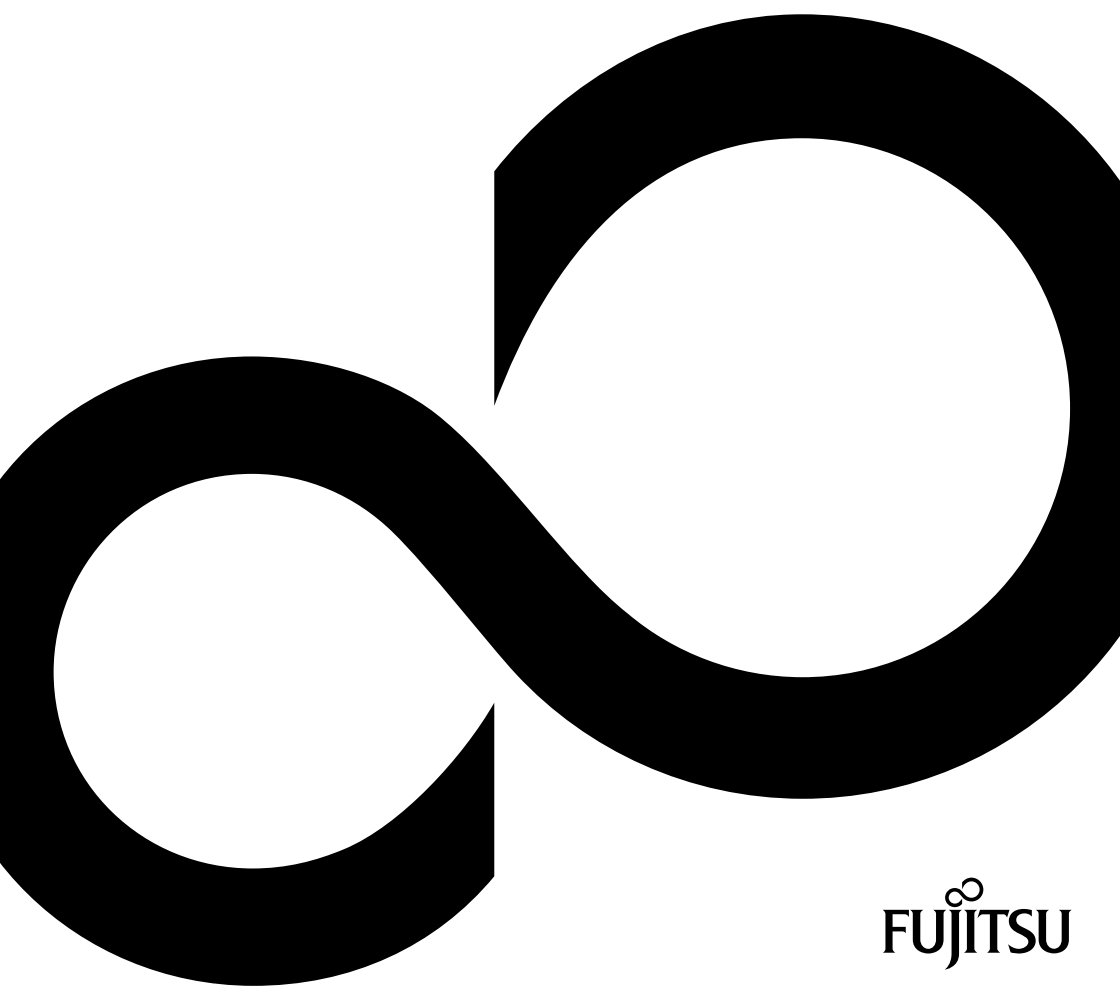


BIOS マニュアル D3090/D3091



富士通製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

弊社の製品についての最新情報、役に立つヒント、アップデート等が弊社ウェブサイトでご覧になれます。[「http://ts.fujitsu.com」](http://ts.fujitsu.com)または[「http://jp.fujitsu.com/」](http://jp.fujitsu.com/)

ドライバや修正プログラムは、以下をご覧ください。

[「http://ts.fujitsu.com/support/index.html」](http://ts.fujitsu.com/support/index.html)または

[「http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/」](http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/)

技術的な質問がある場合は、以下までご連絡ください。

- ・ 弊社のホットライン/サービスデスク (別に記載のサービスデスク一覧をご覧になるか、以下のアドレスをご確認ください。[「http://ts.fujitsu.com/support/servicedesk.html」](http://ts.fujitsu.com/support/servicedesk.html)または[「http://primeserver.fujitsu.com/primergy/support/」](http://primeserver.fujitsu.com/primergy/support/))
- ・ 取扱店
- ・ 営業所

新しい富士通システムを十分にご活用ください。



著作および商標

Copyright © 2011 Fujitsu Technology Solutions GmbH.
All rights reserved.

お届けまでの日数は在庫状況によって異なります。技術的修正の権利を有します。

使用されているハードウェア名およびソフトウェア名は、各社の商標です。

— 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

— 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害に

ついては、当社はその責を負いません。

— 無断転載を禁じます。

Microsoft、Windows、Windows Server、および Hyper V は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

AMD、AMD Arrow ロゴ、AMD Athlon、AMD Sempron、AMD Opteron ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。その他全ての名称は情報提供の目的においてのみ記載されているもので、各所有者の商標となります。

BIOS マニュアルD3090/D3091

Manual

はじめに	7
BIOSセッアップのナビゲート	9
Main Menu - システム機能	11
Advanced Menu - 内蔵デバイスのシステム構成	13
Security Menu -セキュリティ機能	29
Power Menu - 電源管理機能	34
Event Logs - イベントログの構成と表示	38
Boot Menu - 起動順位の設定	40
Save & Exitメニュー- 保存と終了	43
BIOSアップデート	45
キーワード	47

AMD、AMD Arrowのロゴ、AMD Athlon、AMD Sempron、AMD Opteronおよびそれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。その他の名前は情報提供目的のみで使用されており、それぞれの所有者の商標である場合があります。

Microsoft WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。

Windowsオペレーティングシステムの例：Windows XP、Windows Vista、およびWindows 7。

PS/2 および OS/2 WarpはInternational Business Machines, Inc. の登録商標です。

本稿で使用されたその他の関連商標は、個々の企業所有の商標または登録商標です。それらの企業の保護された権利は承認されています。

Copyright © Fujitsu Technology Solutions GmbH 2011

ドキュメント全体またはその一部について、翻訳権、または印刷、コピー、同様の方法による複製の権利を含むすべての権利が保護されています。

違反者は起訴され、損害の賠償責任が発生します。

特許の許可、またはユーティリティモデルあるいは設計の登録によって発生した権利を含む全ての権利が保持されています。

配送は利用状況に応じます。この製品に技術的な変更を加える権利を有します。

目次

はじめに	7
表記規約	8
BIOSセットアップのナビゲート	9
BIOSセットアップの開始	9
Bootメニューを即座に開きたい場合	9
BIOSセットアップのナビゲート	10
BIOS Setupの終了	10
Main Menu – システム機能	11
System Information	11
Board and Firmware Details	11
Network Controller Details	12
Processor Details	12
Memory Details	12
System Language	12
System Date/System Time	12
Access Level	12
Advanced Menu – 内蔵デバイスのシステム構成	13
Legacy OpROM Support	14
Launch PXE OpROM	14
Launch Storage OpROM	14
Erase Disk	14
PCI Subsystem Settings	16
PCI ROM Priority	16
PCI Common Settings	16
PCI Express Link Register Settings	16
Trusted Computing	17
TPM Support	17
TPM State	17
Pending TPM operation	17
Current TPM Status Information	18
WHEA Configuration	18
WHEA Support (only D3090)	18
CPU Configuration	18
Limit CPUID Maximum	18
PSS Support	19
C1E - Enhanced Halt State	19
SVM Mode	19
Core Levelling Mode	19
Hardware Prefetcher	20
SW Prefetcher	20
DRAMプリフェッチャ	20
Runtime Error Logging	20
ECC Memory Error Logging (only D3090)	20
Memory Configuration	20
Bank Interleaving	21
Channel Interleaving	21
GFX Configuration	21
Integrated Graphics	21

Display Port	21
UMA Frame Buffer Size	21
FB Location	22
SATA Configuration	22
OnChip SATA Channel	22
OnChip SATA Type	22
SATA PORT n	22
External SATA Port	22
SATA PORT Status	22
Acoustic Management Configuration	23
Acoustic Management	23
Acoustic Mode	23
USB Configuration	23
USB Devices	23
Legacy USB Support	24
Mass Storage Devices	24
System Monitoring	24
Controller Revision	24
Chassis Type	24
TCV Version	24
Fan Control	25
オンボードデバイスの構成	25
LAN controller	25
Audio Configuration	25
High Precision Event Timer の構成	26
Super IO Configuration	26
Super IO Chip	26
Serial Port 0 Configuration	26
Serial Port	26
Device Settings	26
Parallel Port Configuration	26
Parallel Port	26
Device Settings	27
Device Mode	27
PCI Status (only D3090)	27
PCI Slot n	27
Option ROM Configuration (only D3090)	27
Launch Slot n OpROM	28
Security Menu -セキュリティ機能	29
パスワードの説明	30
管理者パスワード	30
User Password	30
User Password on Boot	31
Cabinet Monitoring	31
Skip Password on WOL	31
Flash Write	31
HDD Security Configuration	32
HDD Password on Boot	32
HDD n	32
HDD Password Configuration	32
Security Supported	32
Security Enabled	32

Security Locked	32
Security Frozen	32
HDD Master Password Status	32
HDD Master Password Status	33
Set User Password	33
Power Menu – 電源管理機能	34
Power Settings	34
Power-On-Source	34
Low Power Soft Off	35
Power Failure Recovery – 電力障害後のシステムステータス	35
Hibernate like Soft Off	35
USB At Power Off	35
Wake-Up Resources	36
LAN	36
Wake On LAN Boot	36
Wake Up Timer	36
Hour	36
Minute	36
Second	36
ウェイクアップモード	37
Wake Up Day	37
USB Keyboard	37
Event Logs - イベントログの構成と表示	38
SMBIOSイベントログ設定の変更	38
SMBIOS Event Log	38
Erase Event Log	38
When Log is full	38
Log System Boot Event	38
MECI	38
METW	39
Log OEM Codes	39
Convert OEM codes	39
View SMBIOS Event Log	39
Boot Menu – 起動順位の設定	40
Boot Configuration	40
Bootup NumLock State	40
Quiet Boot	41
Option ROM Messages	41
POST Errors	41
Remove Invalid Boot Options	41
Boot Removable Media	41
Virus Warning	42
Boot option priorities	42
Save & Exitメニュー– 保存と終了	43
Save Changes and Exit	43
Discard Changes and Exit	43
Save Changes and Reset	43
Discard Changes and Reset	44
Save Options	44
Save Changes	44

Discard Changes 44

Restore Defaults 44

Save as User Defaults 44

Restore User Defaults 44

Boot Override 44

BIOSアップデート 45

Flash BIOS update under Windows 45

USBメモリを使用したFlash BIOSアップデート 46

Flash Memory Recovery Update 46

キーワード 47

はじめに

*BIOS Setup*はシステムの機能とシステムのハードウェアの構成のための設定を提供します。ユーザーが行った変更は、設定を保存し「*BIOS Setup*」を終了するとすぐ有効になります。

*BIOS Setup*の各メニューは以下の領域に対する設定を提供します。



<i>Main:</i>	セキュリティ機能
<i>Advanced:</i>	内蔵デバイスのシステム構成
<i>Security:</i>	セキュリティ機能
<i>Power:</i>	電源管理機能
<i>Event Logs:</i>	イベントログの構成と表示
<i>Boot:</i>	起動シーケンスの構成
<i>Save & Exit:</i>	保存と終了



設定のオプションは、お使いのシステムのハードウェア構成によって異なります。

そのためお使いのシステムの「*BIOS Setup*」で利用可能でないメニューや設定があったり、メニューの場所が違ふことがあります。それらの状態は「*BIOS revision*」によって異なります。

表記規約

	この記号が付いた文章には特にご注意ください。この警告に従わない場合、ユーザーの健康に被害がある、システムが破壊される、またはデータの損失につながる可能性があります。保証は、システムの故障がこの警告に注意を払わなかったことに起因する場合、無効となります。
	システムを適切に使うために必要とされる重要な情報を示します。
▶	実行する必要があるアクティビティーを示します。
↳	結果を示します。
このフォント	プログラムのダイアログ、またはコマンドラインでキーボードを使って入力された、例えばパスワード(Name123)のようなデータ、またはプログラムを開始するためのコマンド(start.exe)であることを示します。
このフォント	プログラムによって画面に表示された情報であることを示します。 例 インストールが完了しました。
このフォント	<ul style="list-style-type: none">ソフトウェアインターフェイスで使用する術語や文章を示します。 例：「Save」をクリックしますプログラムやファイルの名前、例：Windowsまたはsetup.exe。
「このフォント」	<ul style="list-style-type: none">その他のセクションとの相互参照を示します。例「安全性に関する情報」ウェブアドレスなど、外部ソースへの相互参照：詳細は「http://ts.fujitsu.com」または「http://jp.fujitsu.com/」をご覧ください。CD、DVDの名前、その他の資料のタイトルや指定。例：「CD/DVDドライブとユーティリティ」または「安全性」マニュアル
Abc	キーボードのキーを示します。例：F10。

BIOSセットアップのナビゲート

BIOSセットアップの開始

- ▶ システムのスイッチを入れます。
- ↳ 画面に出力が表示されるまでお待ちください。
- ▶ **[F2]**ファンクションキーを押してください。
- ▶ システムがパスワードで保護されている場合、このときにそのパスワードを入力し、**[Enter]**キーで確定してください。パスワード割当の詳細は、「[「パスワードの説明」、ページ 30](#)」を参照してください。
- ↳ BIOS Setup Mainメニューが画面に表示されます。
- ▶ システム固有の情報を表示するには、「*System Information*」を選択し、**[Enter]**キーを押してください。
- ↳ BIOSリリース情報が表示されます。
 - ・ BIOSのバージョン（例：R1.3.0）



「Board」の下に、システムボードの番号（例：D3062-A11）があります。

このシステムボードの番号を使うと、「ドライバーとユーティリティ」または「ServerStart」のCD/DVDにある適切なシステムボードの技術マニュアルを探すことができます。または対応するBIOSアップデートファイルをインターネットからダウンロードすることもできます（[「BIOSアップデート」、ページ 45](#)をお読みください）。

Bootメニューを即座に開きたい場合





この機能は、「*Boot*」メニューの「*Boot Option Priorities*」に最初の設定として提供されているドライブから起動したくない場合に使用できます。



- ▶ システムを起動して、画面に出力が表示されるまでお待ちください。
- ▶ **[F12]**ファンクションキーを押してください。
- ↳ 画面に、ポップアップウィンドウとして起動オプションが表示されます。これでどのドライブを使ってオペレーティングシステムを起動するかを選択できます。選択オプションは、「*Boot*」サブメニューの「*Boot Option Priorities*」で可能な設定と同じです。
- ▶ とカーソルキーを使い、このときオペレーティングシステムから起動するドライブを選択し、**[Enter]**キーで選択肢を確認してください。



この設定は現在のシステム起動に対してのみ有効です。次回のシステム起動時に、*Boot*メニューの設定が再度有効になります。

- ▶ BIOS Setupを起動する場合、カーソルキーまたはを使用して、「*Enter Setup*」エントリを選択し、**[Enter]**キーで選択肢を確認してください。

BIOSセッティングのナビゲート

 または  カーソルキー	メニューバーでメニューを選択する
 または  カーソルキー	フィールドを選択する- 選択されたフィールドが強調表示されます。
 または 	サブメニューを開きます (▶マークが付いています)  、終了するには 
 または  キー (数字キーパッド)	フィールドのエントリを変更する
 ファンクションキー	すべてのメニューに対してデフォルト値を設定する
 ファンクションキー	<i>BIOS Setup</i> が開かれていた時に使用されていたエントリをリセットします。

BIOS Setup の終了

- ▶ 「*BIOS Setup*」を終了するには、メニューバーの「*Save & Exit*」メニューを選択します。
- ↳ これで変更した設定を保存するかどうかを決められます。
- ▶ 必要な機能を選択してください。
- ▶ Enter キーを押してください。

Main Menu – システム機能

Main Advanced Security Power Event Logs Boot Save & Exit		
BIOS Information		This submenu provides details on the system configuration
BIOS Vendor	American Megatrends	
Core Version	4.6.4.0	
▶ System Information		
System Language		[English]
System Date		[Thu 12/02/2010]
System Time		[17:30:18]
Access Level		Administrator
		→←: Select Screen ↑↓: Select Item Enter: Select +/-: Change Opt. F1: General Help F2: Previous Values F3: Optimized Defaults F4: Save & Exit ESC: Exit

Main メニューの表示例

基本的なシステム構成を決定し、概要を提供するために、「Main」メニューに入ります。一部のパラメータは、一定の条件でのみ利用できます。

System Information

このサブメニューには、システム構成の説明が含まれます。一部のパラメータは、オプションでのみ利用できます。

Board and Firmware Details

インストールされたシステムボードとファームウェアの現在の情報を示します。

BIOS Revision	現在のBIOSバージョンを示します。
Build Date and Time	現在のBIOSの作成日時を示します。
Board	現在のシステムボードに関する情報を示します。
Ident Number	システムの識別番号を示します。
UUID	16バイト長のGlobally Unique Identifier (GUID) ととも呼ばれるUniversal Unique IDを示します。

Network Controller Details

LANコントローラの6バイト長のMACアドレス（Media Access Control）を示します。

Processor Details

<i>Processor Type</i>	CPUの指定を示します。
<i>CPU / Patch ID</i>	CPU IDと現在のPatch IDを示します。
<i>Processor Speed</i>	プロセッサコアのスピードを示します。
<i>Cache Counts & Sizes</i>	キャッシュに関する詳細情報を表示します。
<i>Active Package, Core & Thread Count (maximum)</i>	アクティブで最大利用可能なCPUパッケージ、コア、およびスレッドの数を示します。

Memory Details

メモリ数量の詳細を示します。

<i>Memory Size / Frequency</i>	合計メモリをメガバイト単位で、メモリ頻度をMHzで示します。
<i>DIMM n</i>	対応するメモリソケットのメモリサイズをメガバイト単位で示します。

System Language

「*BIOS Setup*」で使用される言語を指定します。

System Date/System Time

システムの現在設定されている日付/現在設定されている時刻を示します。日付の形式は「曜日、月/日/年」「」です。時刻の形式は、「時/分/秒」「」です。現在設定された日付/現在された時刻を変更するには、フィールド「*System Date*」に新しい日付を入力し、フィールド「*System Time*」に新しい時刻を入力します。「*System Time*」と「*System Date*」フィールドの間でカーソルを移動するにはタブキーを使用してください。



コンピュータの起動時にシステムの日付と時刻のフィールドが正しく設定されていない場合、リチウム電池が放電している可能性があるため、電池を取り替える必要があります。リチウム電池を取り替える手順は、システムボードのマニュアルに説明されています。

Access Level

*BIOS Setup*での現在のアクセスレベルを示します。システムがパスワードで保護されていない場合、アクセスレベルは管理者です。ユーザーパスワードのみが設定されていた場合、ユーザーには管理者権限があります。管理者パスワードとユーザーパスワードが設定されている場合、アクセスレベルは入力されるパスワードに応じて異なります。

Advanced Menu – 内蔵デバイスのシステム構成

システムで利用できる高度な機能は、内蔵デバイスのシステム構成用にこのメニューで構成されます。



特別な目的のために必要な場合のみ、デフォルトの設定を変更してください。設定を間違えると障害が起こることがあります。

Main Advanced Security Power Event Logs Boot Save & Exit	
Legacy OpROM Support Launch PXE OpROM [Enabled] Launch Storage OpROM [Enabled] Erase Disk [Disabled]	Enable or Disable Boot Option for Legacy Network Devices.
▶ PCI Subsystem Settings ▶ Trusted Computing ▶ CPU Configuration ▶ Memory Configuration ▶ GFX Configuration ▶ SATA Configuration ▶ Acoustic Management Configuration ▶ USB Configuration ▶ System Monitoring ▶ Onboard Device ▶ Super I/O Configuration	→←: Select Screen ↑↓: Select Item Enter: Select +/-: Change Opt. F1: General Help F2: Previous Values F3: Optimized Defaults F4: Save & Exit ESC: Exit

Advancedメニューの表示例

Legacy OpROM Support

Launch PXE OpROM

Preboot eXecution Environmen (PXE)を使用すると、接続されているデバイスとは関係なく、オプションROMによってシステムをネットワークインターフェイス経由で起動できます。

Disabled PXE Option ROMが起動していません。

Enabled PXE経由で起動できるように、PXE Option ROMが起動します。



PXE経由で起動するには、**[F12]**キーを押して「Boot」メニューを起動するか、「Boot」メニューの「Boot Option Priorities」の設定を変更します。

Launch Storage OpROM

レガシーマストレージの「Option ROMs」がロードされ、実行されているかを指定します。

Disabled レガシーマストレージの「Option ROMs」が起動しません。

Enabled レガシーマストレージの「Option ROMs」が起動します。

Erase Disk

Erase Disk は、SATAハードディスクからすべてのデータを削除するために Fujitsu Technology Solutionsによって組み入れられているファームウェアです (UEFI: Unified Extensible Firmware Interface)。

この機能を使用すると、ハードディスクまたは完全なコンピュータシステムが破棄される前に、内部SATAハードディスクまたはeSATA接続経由で接続されている外部SATAハードディスクにあるすべてのデータが回復不能に削除することができます。この機能は、新しいオペレーティングシステムをインストールする前など、ハードディスクを完全に削除する必要がある場合にも使用できます。



アプリケーションは、管理者/スーパーバイザーパスワードが割り当てられている場合のみ (「BIOS Setup」->「Security Menu」) 選択して実行できます。



ソリッドステートドライブ (SSD) 上のデータは、完全に削除できない場合があることに注意してください。



RAIDシステムでハードディスクを削除するには、「Advanced」メニューの「SATA Configuration」サブメニューで「IDE Mode」または「AHCI Mode」に変更するなど、RAIDコントローラのモードを変更する必要があります

次の手順に従い、SATAハードディスクからデータを削除します：

- ▶ 管理者/スーパーバイザーパスワードで、「BIOS Setup」を呼び出します。

- ▶ アプリケーションを起動するには「*BIOS Setup*」->「*Advanced*」->「*Erase Disk*」を選択し、「*Start after Reboot*」を設定します。
- ▶ それから、メニュー「*Save & Exit / Exit*」で「*Save Changes and Exit*」を選択し、再起動およびErase Diskを開始します。



再起動の後に、「*Erase Disk*」メニューが起動します。ユーザーの選択肢の中に、プロセスを中断するオプションがあります。

- ▶ アプリケーションが起動した後、セキュリティの理由のため、管理者/スーパーバイザーパスワードを入力する必要があります。
- ↳ ダイアログフィールドが表示され、その中に削除するために選択できる特定のハードディスク、複数のハードディスクまたはすべてのハードディスクが表示されます。表示されるハードディスクは、システム内のハードディスクの数に応じて異なります。
- ▶ 削除するハードディスクを選択します。
- ↳ 選択されたハードディスクは個別に削除されます。



Erase Diskでは、「fast」（1種類での削除）から「very secure」（35種類での削除）まで、4つの削除オプションを提供します。選択したアルゴリズムに応じて、プロセスにはGBあたり10秒から10分かかる場合があります。

- ・ Zero Pattern (1種類での削除)
- ・ German BSI/VSITR (7種類での削除)
- ・ DoD 5220.22-M ECE (7種類での削除)
- ・ Guttmann (35種類での削除)



完全な削除プロセスは、FAT32でフォーマットされた外部USBドライブへ監査準拠ログとしてコピーできます。外部USBドライブを接続してください。

- ▶ ステータスレポートをUSBメモリに書き込むかどうか選択します。



ユーザーは、削除プロセスの後にシステムによって実行される次のタスクを選択できます：

- ・ *Reset administrator and user password*
- ・ *Load BIOS setup defaults*
- ・ *Shutdown the computer*
- ・ *Exit Erase Disk with no additional options upon completion*

- ▶ 必要な機能を選択します。
- ↳ 削除プロセスが開始します。

Disabled Erase Diskは次の再起動後に開始しません。

Start after Reboot Erase Diskは次の再起動後に開始します。

PCI Subsystem Settings

PCI ROM Priority

複数のOption ROMが利用可能である場合に、起動されるPCI Option ROMを指定します。

<i>Legacy ROM</i>	レガシーOption ROMが起動されています。
<i>EFI Compatible ROM</i>	EFI Compatible Option ROMが起動されています。

PCI Common Settings

PERR# Generation

PERR# (PCI パリティ エラー) が作成されるかどうかを指定します。

<i>Disabled</i>	PCI パリティ エラーは作成されません。
<i>Enabled</i>	PCI パリティ エラーは作成されます。

SERR# Generation

SERR# (PCIシステムエラー) が作成されるかどうかを指定します。

<i>Disabled</i>	PCIシステムエラーが作成されません。
<i>Enabled</i>	PCIシステムエラーが作成されます。

PCI Express Link Register Settings

ASPM Support

PCI Express Linkの消費電力を徐々に減らしてエネルギーを節約できるように、Active State Power Management (ASPM) を構成します。

<i>Disabled</i>	ASPMが無効です。PCI Express接続の消費電力量が減少しません。最高の互換性です。
<i>Auto</i>	最大のエネルギー節約を構成します。PCI Express接続の低電力モードをL0s(単方向)またはL1(双方向)に設定します。
<i>Limit to L0s</i>	PCI Express接続の低電力モードをL0s(単方向)に制限します。互換性とエネルギー節約の間で妥協点を見つけます。



PCI Expressデバイスの遅延は、ASPMが無効になっていない場合に増加します。ASPMが通常のこの選択で有効にされる場合でも、対応するPCI Expressアダプターカードまたは対応するオンボードコントローラもこれをサポートしている場合にのみ、特定の接続に対して有効になります。多様なアダプターカードは、この機能を正しくサポートしていないので、予測できないシステム動作が発生する可能性があります。

Trusted Computing

TPMを有効にし、TPM設定を変更するためのサブメニューを開きます。このセットアップメニューが利用できる場合、システムボードにはTCG Specification1.2に準拠するセキュリティと暗号化チップが含まれます。(TPM Trusted Platform Module)。このチップによってセキュリティ関連のデータ(パスワード等)を安全に保存することができます。TPMの使用は、Trusted Computing Group (TCG)によって規格化され仕様が策定されています。

TPM Support

TPM (Trusted Platform Module) ハードウェアが利用可能であるかどうかを指定します。TPMが無効になっている場合、システムはTPMハードウェアのないシステムとして動作します。

Disabled Trusted Platform Moduleが利用できません。

Enabled Trusted Platform Moduleが利用できます。

TPM State

TPM(Trusted Platform Module)がオペレーティングシステムで使用できるかどうかを指定します。

Disabled Trusted Platform Moduleを使用できません。

Enabled Trusted Platform Moduleを使用できます。

Pending TPM operation

次の起動プロセス中に実行されるTPM動作を指定します。

None TPM動作は実行されません。

Enable Take Ownership オペレーティングシステムが、TPMの所有権を引き継ぐことができます。

Disable Take Ownership オペレーティングシステムが、TPMの所有権を引き継ぐことができません。

TPM Clear TPMが工場初期設定にリセットされます。TPMのすべてのキーが検出されます。

Current TPM Status Information

現在のTPM (Trusted Platform Module) ステータスを示します。

<i>TPM SUPPORT OFF</i>	TPM Supportが無効な場合に表示されます。
<i>TPM Enabled Status</i>	TPMが使用できるかどうかを示します。
<i>TPM Active Status</i>	TPMが有効であるかどうかを示します。
<i>TPM Owner Status</i>	TPMのオーナーステータスを示します。

WHEA Configuration

WHEAサポートを有効にするためのサブメニューを開きます。

WHEA Support (only D3090)

Windows Hardware Error Architecture (WHEA) が有効であるかどうかを指定します。

<i>Disabled</i>	Windows Hardware Error Architectureが無効です。
<i>Enabled</i>	Windows Hardware Error Architectureが有効です。

CPU Configuration

「CPU Configuration」サブメニューを開きます。



このメニューで次のパラメータを設定できます。一部の設定は、特別な前提条件でのみ利用できます。

Limit CPUID Maximum

プロセッサから呼び出すことができる、CPUID機能の数を指定します。オペレーティングシステムによっては3つ以上の機能をサポートする新しいCPUIDコマンドを処理できないことがあります。このパラメータは、これらのオペレーティングシステムで有効になっているはずですが。

<i>Disabled</i>	全CPUID機能がサポートされています。
<i>Enabled</i>	オペレーティングシステムとの互換性のため、プロセッサによってサポートされるCPUID機能の数は減らされています。

PSS Support

ACPI Processor Power Management表を使用して、CPUの可能な電力モードと速度モードをACPI OSに通知します。

<i>Disabled</i>	ACPI Processor Power Management表が生成されていません。CPUの電力モードと速度モードは、ACPI OSによって変更できません。
<i>Enabled</i>	ACPI OSは、ACPI Processor Power Managementに説明されているとおりにCPUの電力モードと速度モードを変更できます。

C1E – Enhanced Halt State

オペレーティングシステムによってサポートされている場合、プロセッサは省エネのために可能なときに停止します。

<i>Disabled</i>	C1E Power State機能が利用できません。
<i>Enabled</i>	C1E Power State機能が利用できます。

SVM Mode

Secure Virtual Machine (SVM)は、プラットフォームハードウェアと複数のソフトウェア環境の可視化をサポートしています。Virtual Machine Extensions (VMX) をベースに、バーチャルコンピュータを使った複数のソフトウェア環境の利用をサポートしています。



アクティブモードで、Virtual Machine Monitor (VMM) は、Secure Virtual Machine (SVM) のその他のパフォーマンス機能を使用できます。

<i>Disabled</i>	Virtual Machine Monitor (VMM) がハードウェアのその他のパフォーマンス機能を使用できません。
<i>Enabled</i>	VMMが、ハードウェアのその他のパフォーマンス機能を使用できます。

Core Levelling Mode

複数のプロセッサコアを含むプロセッサで、アクティブなプロセッサコアの数を制限できます。非アクティブなプロセッサコアは使用されず、オペレーティングシステムから隠されます。

<i>Automatic Mode</i>	すべての利用可能なプロセッサコアがアクティブであり、使用できます。
<i>n core(s) per processor</i>	選択された数のプロセッサコアのみがアクティブです。その他のプロセッサコアは無効になっています。



ここでの選択により、特定のソフトウェアパッケージまたはシステムライセンスに関して発生する可能性がある問題を解決することができます。

Hardware Prefetcher

この機能が有効になっている場合、メモリバスが非アクティブのときに、必要であると予測されるメモリコンテンツの自動的なプリフェッチが発生します。コンテンツがメモリではなくキャッシュからロードされる場合、遅延が減少します。これは特に、線形データアクセスのアプリケーションに当てはまります。



このパラメータを使うと、非標準アプリケーションのパフォーマンス設定をすることができます。標準アプリケーションの場合、デフォルト設定を維持することをお勧めします。

<i>Auto</i>	CPUのハードウェアプリフェッチャをアクティブにします。
<i>Disabled</i>	CPUのハードウェアプリフェッチャを非アクティブにします。

SW Prefetcher

SW（ソフトウェア）プリフェッチャが有効になっているとき、特別なCPUプリフェッチ指示のセットが利用できます。

<i>Auto</i>	特別なソフトウェアプリフェッチCPU指示を有効にします。
<i>Disabled</i>	特別なソフトウェアプリフェッチCPU指示を無効にします。

DRAMプリフェッチャ

この機能が有効になっているとき、特別なバッファにデータが事前に読み取られます。そうしないと未使用のDRAMサイクルも使用されることになります。これによりメモリへのアクセス中の遅延が減少します。これは特に、線形データアクセスのアプリケーションに当てはまります。

<i>Auto</i>	CPUのDRAMプリフェッチャをアクティブにします。
<i>Disabled</i>	CPUのDRAMプリフェッチャを非アクティブにします。

Runtime Error Logging

ECC Memory Error Logging (only D3090)

ECCメモリエラーが認識され、SMBIOSイベントログに入力されるかどうかを指定します。

<i>Enabled</i>	単一ビットメモリエラーと複数ビットメモリエラーが、SMBIOSイベントログに入力されます。
<i>Multi-bit Errors Only</i>	複数ビットメモリエラーのみが、SMBIOSイベントログに入力されます。
<i>Disabled</i>	メモリエラーがSMBIOSイベントログに入力されません。

Memory Configuration

「*Memory Configuration*」サブメニューを開きます。

Bank Interleaving

メモリバンク上のデータの割り当てを交互に実行することで、メモリの大域幅を向上させるために、バンクインターリーブを有効にするかどうか指定します。

Auto 可能であれば、バンクインターリーブが有効にされます。

Disabled バンクインターリーブが無効になります。

Channel Interleaving

メモリチャンネルを交互に使用することで、連続したメモリエリアへのアクセスを向上させるために、チャンネルインターリーブを有効にするかどうか指定します。

Auto 可能であれば、チャンネルインターリーブが有効にされます。

Disabled チャンネルインターリーブが有効にされません。

GFX Configuration

サブメニューを開き、システム ボードの画像コントローラーを構成します。

Integrated Graphics

システムボードに統合されているグラフィックスコントローラが利用できるかどうかを指定します。

AUTO x16 PEGカードが接続されている場合、システムボードのグラフィックスコントローラが利用できません。

Enabled システムボードのグラフィックスコントローラが常に利用できます。

Display Port

PCIe x16 スロットに8レーンまたは16レーンが利用できるかを指定します。

Disabled すべての16レーンが、PCIe x16 スロットに利用できます。

Enabled 8レーンのみ、PCIe x16 スロットに利用できます。

UMA Frame Buffer Size

画像のフレームバッファの専用サイズを指定します。 オペレーティングシステムで利用できるメインメモリが、値セット分減少します。

Auto フレームバッファサイズは、グラフィックスコントローラで推奨されるサイズに構成されます。

32MB..1024MB この値セットは、専用フレームバッファサイズとして使用されます。

FB Location

システムボードのグラフィックスコントローラのフレームバッファが、4Gの上にあるか、下にあるかを指定します。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| <i>Below 4G</i> | フレームバッファが4Gより下にあります。 |
| <i>Above 4G</i> | フレームバッファが4Gより上にあります。 |

SATA Configuration

「SATA configuration」サブメニューを開きます。

OnChip SATA Channel

SATAポートが利用できるかどうかを指定します。

- | | |
|-----------------|------------------|
| <i>Disabled</i> | SATAポートが利用できません。 |
| <i>Enabled</i> | SATAポートが利用できます。 |

OnChip SATA Type

SATAポートが動作するモードを指定します。

- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| <i>Native IDE</i> | SATAポートがネイティブIDEモードで動作しています。 |
| <i>RAID (利用可能な場合)</i> | SATAポートがネイティブRAIDモードで動作しています。 |
| <i>AHCI</i> | SATAポートがネイティブAHCIモードで動作しています。 |

SATA PORT n

SATA PORT nポートが利用できるかどうかを指定します。

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| <i>Enabled</i> | SATA PORT nポートが利用できます。 |
| <i>Disabled</i> | SATA PORT nポートが利用できません。 |

External SATA Port

ポートがSATAとして内部で動作するか、eSATAとして外部で動作するかを指定します。

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| <i>Disabled</i> | ポートはSATAとして内部で使われます。 |
| <i>Enabled</i> | ポートは外部SATA (eSATA) として使われます。 |

SATA PORT Status

関連付けられたSATA PORTに接続されているデバイスに関する情報を提供します。

Acoustic Management Configuration

サブメニューを開き、ハードディスクまたは光学式ドライブのノイズレベルを設定します。

Acoustic Management

ハードディスクまたは光学式ドライブ（Automatic Acoustic Management）のノイズレベルを設定の機能が利用できるかどうかを指定します。

Disabled Automatic Acoustic Managementが利用できません。

Enabled Automatic Acoustic Managementが利用できます。

Acoustic Mode

ハードディスクと光学式ドライブのノイズレベルを指定します。ドライブのノイズレベルは、ドライブの回転速度を遅くして減らします。この機能は、ドライブでサポートされている必要があります。



ノイズレベルを設定する機能（「Automatic Acoustic Management」）が無効になっている場合、「Acoustic Mode」は「Not Available」です。ノイズレベルを設定する機能（「Automatic Acoustic Management」）が有効になっているも、接続されているSATAデバイスでサポートされていない場合は、「Acoustic Mode」が自動的に「Not supported」に設定されます。

Bypass ドライブは、事前設定された回転速度で動作します。

Quiet ドライブは、可能な最も遅い回転速度で動作します。ドライブは、低いノイズと限定されたパフォーマンスで動作します。

Medium Performance ドライブは、中程度の回転速度で動作します。ドライブは、減少したノイズと多少減少したパフォーマンスで動作します。

High Performance ドライブは、可能な最も速い回転速度より多少遅い速度で動作します。

Max Performance ドライブは、可能な最も速い回転速度で動作します。

USB Configuration

USB Devices

利用可能なUSBデバイス、USBキーボード、USBマウス、およびUSBハブの数を示します。

Legacy USB Support

レガシーUSBサポートが利用可能かどうか指定します。必要であればオペレーティングシステムがUSBデバイスから起動できるように、この機能は常に有効にするか、「Auto」に設定する必要があります。

<i>Disabled</i>	レガシーUSBサポートが利用できません。USBキーボードまたはUSBマウスは、これがオペレーティングシステムでサポートされている場合にのみ使用できます。USBデバイスからのオペレーティングシステムの起動は、可能ではありません。
<i>Enabled</i>	レガシーUSBサポートが利用できます。オペレーティングシステムがUSBをサポートしていない場合には、USBキーボードまたはUSBマウスも使用できます。USBデバイスからのオペレーティングシステムの起動が可能です。
<i>Auto</i>	USBデバイスが接続されていない場合、レガシーUSBサポートは無効になります。



オペレーティングシステムがUSBをサポートしており、USBデバイスからオペレーティングシステムを起動したくない場合、レガシーUSBサポートを無効にする必要があります。

Mass Storage Devices

List of USB Mass Storage Device(s)

ユーザーに特定のデバイスエミュレーションの強制を許可します。「Auto」に設定すると、デバイスがメディアフォーマットに従ってエミュレートされます。光学デバイスは、ドライブの種類に従って「CD-ROM」およびデータメディアなしのドライブとしてエミュレートされます。

<i>Auto</i>	エミュレーションは、USBデバイスに応じて選択されます。
<i>Floppy</i>	USBフロッピーエミュレーションを強制します。
<i>Hard Disk</i>	USBハードディスクエミュレーションを強制します。
<i>CD-ROM</i>	USB CD-ROMエミュレーションを強制します。

System Monitoring

Controller Revision

システム管理コントローラのバージョンを示します。

Chassis Type

現在のシャーシのタイプを表示します。

TCV Version

TCV (Temperature Characteristics Values) のバージョンを示します。

Fan Control

ファンのスピードが自動的に調整されるかどうかを指定します。

- | | |
|-----------------|---|
| <i>Enabled</i> | ファンのスピードが自動的に調整されます。 |
| <i>Disabled</i> | ファンのスピードが自動的に調整されません。すべてのファンが、最大速度で動作します。 |

オンボードデバイスの構成

サブメニューを開き、システム ボードのデバイスを構成します。一部の設定は、一定の条件でのみ利用できます。

LAN controller

システムボード上でLANコントローラが利用できるかどうかを指定します。

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| <i>Enabled</i> | システムボード上でLANコントローラが利用できます。 |
| <i>Disabled</i> | システムボード上でLANコントローラが利用できません。 |

Audio Configuration

Azalia HD Audio

オンボードのAzalia HD(高解像) オーディオコントローラを有効にします。

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| <i>Disabled</i> | オンボードのオーディオコントローラが無効です。 |
| <i>Enabled</i> | オンボードのオーディオコントローラが有効です。 |

AMD HD (HDMI) Audio

HDMI (High Definition Multimedia Interface) またはDisplay Port Monitor経由でオーディオ出力が利用できるかどうかを指定します。

- | | |
|-----------------|--|
| <i>Disabled</i> | HDMIまたはDisplay Port Monitor経由でオーディオ出力が利用できません。 |
| <i>Enabled</i> | HDMIまたはDisplay Port Monitor経由でオーディオ出力が利用できます。 |

フロントパネルオーディオ

レガシーフロントオーディオコネクタ (AC97) の使用を可能にします。オーディオ接続が使用されているかどうかの自動確認は、この設定ではサポートされていません。

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 高解像 | 自動使用認識の高解像度オーディオケーブルを使う場合。 |
| レガシー | 自動使用認識のないレガシーオーディオケーブルを使う場合。 |

High Precision Event Timer の構成

High Precision Timer

有効化されたとすると、オペレーティングシステムは、Precision Event Timerを利用することができ、タイムクリティカルなアプリケーションの必要を満たすことができます。この高度なタイマーはMultimedia Timerとも呼ばれます。

Disabled High Precision Event Timerが無効になっています。

Enabled High Precision Event Timerが有効になっています。

Super I/O Configuration

Super I/O Chip

Super I/O Chipに関する情報を示します。

Serial Port 0 Configuration

サブメニューを開き、シリアルポート0（COM A）を構成します。

Serial Port

シリアルポートが利用できるかどうかを指定します。

Disabled シリアルポートが利用可能ではありません。

Enabled シリアルポートが利用可能です。

Device Settings

特定のシリアルポートにアクセスするために使用されるベースI/Oアドレスと割り込みを示します。

Parallel Port Configuration

サブメニューを開き、パラレルポート0（LPT）を構成します。

Parallel Port

パラレルポートが利用できるかどうかを指定します。

Disabled パラレルポートが利用可能ではありません。

Enabled パラレルポートが利用可能です。

Device Settings

パラレルポートにアクセスするために使用されるベースI/Oアドレスと割り込みを示します。

Device Mode

パラレルポートが入力/出力ポートとして使用されるか、または出力ポートとしてのみ使用されるかを指定します。ECPおよびEPP転送モードは、2または2.4Mバイト/sのより高速な転送速度を実現します。ただしこれらのモードは、これらのモードもサポートするデバイスでのみ使用できます。さらに、EPPの場合、パラレルポートのI/Oアドレスは、378 hまたは278 hに設定しなければなりません。

<i>Standard Parallel Port Mode</i>	標準モードは、パラレルポートに使用されます。
<i>EPP Mode</i>	高速転送モード(最速2Mバイト/秒)、データ出力、データ受信が可能です。このモードにはEPP (Enhanced Parallel Port) モードをサポートする周辺機器が必要です。
<i>ECP Mode</i>	高速転送モード(最速2.4Mバイト/秒)、データ出力、データ受信が可能です。このモードにはECP (Extended Capability Port) モードをサポートする周辺機器が必要です。必要なDMAチャンネルはシステムによって決定されます。
<i>EPP Mode & ECP Mode</i>	両方の転送モードが利用できます。

PCI Status (only D3090)

このサブメニューは、スロット内の拡張カードの現在の状態を示します。

PCI Slot n

スロット内の拡張カードの現在のステータスを示します。

<i>Failed</i>	このスロットにエラーが検出されました。このスロットの拡張カードに、問題があると考えられます。
<i>Enabled</i>	このスロットにエラーが検出されませんでした。このスロットの拡張カードは、制限なく使用できます。
<i>Empty</i>	このスロットに拡張カードがありません。

Option ROM Configuration (only D3090)

「Option ROM configuration」サブメニューを呼び出します。

Launch Slot n OpROM

このスロット内にある拡張カード用のOption ROMを起動かどうか指定します。

- Disabled* このスロット内にある拡張カード用のOption ROMが起動されません。
- Enabled* このスロット内にある拡張カード用のOption ROMが起動されます。

Security Menu - セキュリティ機能

Securityメニューは、お使いのシステムと個人のデータを承認のないアクセスから保護するためのさまざまなオプションを提供します。これらのオプションを正しく組み合わせることで、システムへの保護を最大にすることができます。

このメニューで次のセキュリティ設定を行うことができます。一部の設定は、一定の条件でのみ利用できます。

Main	Advanced	Security	Power	Event Logs	Boot	Save & Exit
<p>Password Description</p> <p>If ONLY the Administrator's password is set, then this only limits access to Setup and is only asked for when entering Setup. If ONLY the User's password is set, then this is a power on password and must be entered to boot or enter Setup. In Setup the user will have Administrator rights. The password must be 3 to 32 characters long.</p> <p>Administrator Password User Password Cabinet Monitoring [Disabled] Skip Password on WOL [Disabled] FLASH Write [Enabled]</p> <p>HDD Security Configuration: Set User Password</p> <p>HDD 0:WDC WD5000AA</p>						<p>Set Setup Administrator Password</p> <hr/> <p>→←: Select Screen ↑↓: Select Item Enter: Select +/-: Change Opt. F1: General Help F2: Previous Values F3: Optimized Defaults F4: Save & Exit ESC: Exit</p>

パスワードの説明

管理者パスワードもユーザーパスワードも割り当てられていません

BIOSセットアップを開いてシステムを起動することが、制限なく可能です。

管理者パスワードのみ割り当てられました

管理者パスワードのみ割り当てられた場合、BIOSセットアップのみが保護されます。システムの起動は、制限なしに実行できます。管理者パスワードでBIOSセットアップにアクセスすると、管理者アクセスレベルが割り当てられ、BIOSセットアップに無制限のアクセスが提供されます。パスワードなしでBIOSセットアップにアクセスすると、ユーザーアクセスレベルのみが割り当てられているため、BIOSセットアップへのアクセスが制限されます。

ユーザーパスワードのみが割り当てられていた

ユーザーパスワードのみが割り当てられていた場合、BIOSセットアップとシステムの起動は、ユーザーパスワードが入力されるまで実行できません。ユーザーパスワードでBIOSセットアップにアクセスすると、管理者アクセスレベルが割り当てられ、BIOSセットアップに無制限のアクセスが提供されます。パスワードなしでのBIOSセットアップへのアクセスは許可されません。

管理者パスワードとユーザーパスワードが割り当てられていた

管理者パスワードとユーザーパスワードが割り当てられていた場合、BIOSセットアップでのアクセス権限レベルは入力されるパスワードに応じて異なります。管理者パスワードでBIOSセットアップにアクセスすると、BIOSセットアップへの無制限のアクセスが可能ですので、ユーザーパスワードを入力するとアクセスが制限されます。システムの起動は、管理者パスワードとユーザーパスワードの両方で可能です。



管理者パスワードが削除されると、ユーザーパスワードも削除されます。

システムは、不正なパスワードが3回入力されると停止します。この場合、システムのスイッチをオフにしてから再度オンにし、正しいパスワードを入力してください。

管理者パスワード

Enterキーを押すと、管理者パスワードを割り当てることができるウィンドウが開きます。文字列を入力してパスワードを定義します。空のパスワードフィールドを確認すると、パスワードは削除されます。



完全なBIOSセットアップを呼び出すには、管理者レベルのアクセスが必要です。管理者パスワードが割り当てられている場合、ユーザーパスワードだけではBIOSセットアップへのアクセスが非常に制限されます。

User Password

Enterキーを押すと、ユーザーパスワードを割り当てることができるウィンドウが開きます。文字列を入力してパスワードを定義します。ユーザーパスワードによってシステムへの承認のないアクセスを防ぐことができます。

User Password on Boot

ユーザーパスワードが起動プロセスの前に入力される必要があるかどうかを指定します。

- Every Boot* 起動プロセスのたびに、ユーザーパスワードの入力が必要です。
- Disabled* ユーザーパスワードを入力しなくてもシステムが起動します。



管理者パスワードとユーザーパスワードが割り当てられており、「*Disabled*」の設定がこのアイテムに選択されていた場合、Enterキーを押すだけで、ユーザーアクセスレベルでBIOSセットアップにアクセスすることができます。この場合、ユーザーパスワードを入力する必要はありません。

Cabinet Monitoring

カバーを開けたことを検出するか指定します。

- Disabled* カバーが開いた後も、システムは通常通り動作し続けます。
- Enabled* カバーが開いている場合、BIOSセットアップが呼び出されるまで起動プロセスは中断されます。BIOSセットアップがパスワードで保護されている場合、パスワードを入力する必要があります。SMBIOSイベントログエントリが生成されます。

Skip Password on WOL

Wake on LAN経由でのシステム起動中にユーザーパスワードをスキップするか、入力するかを指定します。

- Disabled* システム起動中、キーボードを使用してユーザーパスワードを入力する必要があります。
- Enabled* Wake On LANでのシステム起動中、ユーザーパスワードは非アクティブになります。

Flash Write

システムBIOSに書き込み保護を提供します。

- Disabled* システムBIOSに書き込みできません。Flash BIOSアップデートが実行できません。
- Enabled* システムBIOSに書き込みできます。Flash BIOSアップデートが実行できません。

HDD Security Configuration

HDD Password on Boot

ハードディスクユーザーパスワードが起動プロセスのたびに入力される必要があるかどうかを指定します。

<i>Disabled</i>	起動プロセス中にハードディスクユーザーパスワードを入力する必要はありません。
<i>Enabled</i>	起動プロセスのたびに、ハードディスクユーザーパスワードの入力が必要です。

HDD n

ハードディスクユーザーパスワードに関する情報を含むサブメニューを開きます。

HDD Password Configuration

ハードディスクの現在のセキュリティの状態を示します。

Security Supported

デバイスで、ハードディスクユーザーパスワードの使用がサポートされている場合、「Yes」と表示されます。この場合、パスワードをハードドライブに割り当てることができます。

Security Enabled

ハードディスクユーザーパスワードまたはハードディスクマスターパスワードのいずれかが、ハードディスクに割り当てられている場合、ここに「Yes」が示されます。

Security Locked

有効なパスワードでロック解除されていなかった場合、ハードディスクがロックされます。

Security Frozen

「Yes」が表示されている場合、ハードディスクユーザーパスワードの設定、変更、または削除ができません。Security Frozenステータスを「No」に変更するには、システムはBIOSセットアップが呼び出される前にシャットダウンされている必要があります。その場合にのみ、ハードディスクユーザーパスワードの設定、変更、または削除が可能になります。

HDD Master Password Status

ハードディスクユーザーパスワードが割り当てられたかどうかを示します。

HDD Master Password Status

ハードディスクマスターパスワードが割り当てられたかどうかを示します。

Set User Password

ハードディスクユーザーパスワードは、ハードディスクを承認されないアクセスから保護します。ハードディスクからのオペレーティングシステムの起動、またはハードディスク上のデータへのアクセスは、ハードディスクユーザーパスワードを知っている人でなければ実行できません。ハードディスクユーザーパスワードの長さは、最大32文字にできます。設定は即座に有効になり、BIOSセットアップを終了する方法に関係なくその後も有効です。ハードディスクユーザーパスワードは、POST時に要求されます。



Enterキーを押すと、ハードディスクユーザーパスワードを割り当てることができるウィンドウが開きます。文字列を入力してパスワードを定義します。空のパスワードフィールドを確認すると、パスワードは削除されます。

Power Menu – 電源管理機能

Main	Advanced	Security	Power	Event Logs	Boot	Save & Exit
Power Settings				[BIOS Controlled]		
Power-On-Source				[BIOS Controlled]		
Low Power Soft Off				[Enabled]		
Power Failure Recovery				[Previous State]		
Hibernate like Soft Off				[Disabled]		
▶ Wake-Up Resources				[ACPI Controlled]		
				Power-on sources are controlled by BIOS. Also valid for ACPI operating systems.		
				Power-on sources are controlled by an ACPI operating system.		
				→←: Select Screen		
				↑↓: Select Item		
				Enter: Select		
				+/-: Change Opt.		
				F1: General Help		
				F2: Previous Values		
				F3: Optimized Defaults		
				F4: Save & Exit		
				ESC: Exit		

Powerメニューの表示例

Power Settings

Power-On-Source

システムのスイッチオンソースが、BIOS経由で管理されるか、ACPIオペレーティングシステム経由で管理されるかを指定します。

- BIOS Controlled*
- スイッチオンソースがBIOS経由で管理されています。
- ACPI Controlled*
- スイッチオンソースがACPIオペレーティングシステム経由で管理されています。

Low Power Soft Off

スイッチが入っていないシステムのエネルギー消費量を減少します。



「Low Power Soft Off」が有効になっているとき、サーバの電源ボタンでのみシステムのスイッチを入れることができます。USBキーボードの電源ボタンまたはWake-on-LAN信号を使用して、デバイスのスイッチを入れることはできません。

Disabled 「Low Power Soft Off」が無効になっています。

Enabled 「Low Power Soft Off」が有効になっています。

Power Failure Recovery – 電力障害後のシステムステータス

電力障害に続いて起こる再起動時のシステムの動作を指定します。

Always off システムのスイッチが一時的に入り、ステータスチェックを実行し(初期化)、スイッチが切れます。

Always on システムのスイッチが入ります。

Previous State システムのスイッチが一時的に入り、ステータスチェックを行い、電力障害が起こる前の状態に戻ります(オンまたはオフ)。

Disabled システムのスイッチは入りません。

Hibernate like Soft Off

休止モード (S4)でもエネルギー消費量を減らすために、システムのスイッチが切られると、Low Power Soft OffまたはZero Wattモード (S5)に切り替わります。「Low Power Soft Off」または「Zero Watt mode」が有効になっている場合にのみ、エネルギー消費量は減少します。

Disabled システムが休止モード (S4) モードに切り替わります。

Enabled 休止モード (S4) になる代わりに、システムはLow Power Soft OffまたはZero Wattモード (S5)モードに切り替わります。

USB At Power Off

USBポートの電源を有効/無効にします。このオプションは、「Low Power Soft Off」と「Zero Watt mode」が無効になっている場合にのみ、利用可能です。

Always off システムがシャットダウンした後は、USBポートに電力が供給されません。

Always on システムがシャットダウンした後も、USBポートに引き続き電力が供給されます。

Wake-Up Resources



このサブメニューは、「Zero-Watt mode」と「Low Power Soft Off」の両方とも有効になっていない場合にのみ、利用可能です。

LAN

LANコントローラ経由(システムボードまたは拡張カード)でシステムのスイッチが入れられるようにするかどうかを決定します。

Enabled システムのスイッチがLANコントローラ経由で入れられます。

Disabled システムのスイッチがLANコントローラ経由で入れられません。

Wake On LAN Boot

ネットワークシグナルによってスイッチが入った場合のシステムの動作を指定します。

Boot Sequence LAN経由でスイッチが入った場合、Bootメニューで指定されたデバイスの順序に従ってシステムが起動されます。

Force LAN Boot LAN経由でスイッチが入った場合、LANから遠隔操作でシステムが起動されます。

Wake Up Timer

システムのスイッチを入れる時刻をここで指定できます。

Disabled Wake Up Timerが有効になっていません。

Enabled Wake Up Timerが有効になっています。 指定した時刻に、システムのスイッチが入ります。

Hour

スイッチオン時刻の時間を指定します。

Minute

スイッチオン時刻の分を指定します。

Second

スイッチオン時刻の秒を指定します。

ウェイクアップモード

毎日、または毎月1回指定した時刻に、システムのスイッチを入れるかどうかを指定します。

Daily 指定した時刻に毎日、システムのスイッチが入ります。

Monthly 月に1回指定した時刻に、システムのスイッチが入ります。

Wake Up Day

システムのスイッチが入る日付を指定します。許可される値は1～31です。

USB Keyboard

キーボードがこの機能をサポートしている場合、USBキーボードのネットワークキー経由でシステムのスイッチを入れることができるかどうか指定します。



USBキーボード経由でシステムのスイッチを入れることは、「*USB At Power-Off*」が「*Always on*」に設定されている場合にのみ可能です。

Disabled USBキーボードのネットワークスイッチが無効になっています。

Enabled USBキーボードのネットワークスイッチが有効になっています。

Event Logs – イベントログの構成と表示

SMBIOS イベントログ設定の変更

SMBIOS Event Log

SMBIOS イベントログを有効にするかどうか指定します。

<i>Disabled</i>	SMBIOS イベントログエントリが無効です。
<i>Enabled</i>	SMBIOS イベントログエントリが有効です。

Erase Event Log

SMBIOS イベントログを削除するかどうか指定します。

<i>No</i>	SMBIOS イベントログエントリは削除されません。
<i>Yes, next reset</i>	SMBIOS イベントログは、次のシステム起動時に削除されます。その後、このオプションは自動的に「 <i>No</i> 」にリセットされます。
<i>Yes, every reset</i>	SMBIOS イベントログは、システムが起動されるたびに削除されます。

When Log is full

SMBIOS イベントログが一杯になった場合に、とるべき手順を指定します。

<i>Do Nothing</i>	SMBIOS イベントが一杯になった場合、それ以上エントリが追加されません。新しいエントリを追加するには、まず SMBIOS イベントログを削除する必要があります。
<i>Erase Immediately</i>	SMBIOS イベントが一杯になった場合、ただちに削除されます。すべての既存のエントリが削除されます！

Log System Boot Event

システムが起動されるたびに SMBIOS イベントログに記録されるかどうか指定します。

<i>Disabled</i>	システムの起動が SMBIOS イベントログに記録されません。
<i>Enabled</i>	システムの起動がすべて、SMBIOS イベントログに記録されます。

MECI

Multiple Event Count Increment: 関連するログエントリを含め、複数のイベントカウンターが更新される前に発生する必要がある、ダブルイベントの数。値は、1～255の範囲です。

METW

Multiple Event Time Window: 複数のイベントカウンターを使用する、ダブルイベントログの間で経過する必要がある分数 値は0～99分の範囲です。

Log OEM Codes

EFIステータスコードのログ機能をOEMコードとして有効または無効にします（まだレガシーに変換されていない場合）。

Convert OEM codes

EFI状態コードの標準SMBIOSタイプへの変換をアクティブまたは非アクティブにします（すべてが変換されるわけではありません）。

View SMBIOS Event Log

存在するすべてのSMBIOSイベントログエントリを示すサブメニューを開きます。

Boot Menu – 起動順位の設定

Main	Advanced	Security	Power	Event Logs	Boot	Save & Exit
Boot Configuration						Select the keyboard Numlock state
Bootup NumLock State						[On]
Quiet Boot						[Enabled]
Option ROM Messages						[Force BIOS]
POST Errors						[Enabled]
Remove Invalid Boot Options						[Disabled]
Boot Removable Media						[Enabled]
Boot Option Priorities						
Boot Option #1						[P4: Optiarc DVD RW...]
Boot Option #2						[P0: WDC WD5000AAKS...]
Boot Option #3						[IBA GE Slot 00C8 v...]
Boot Option #4						[UEFI: Unknown Device]
						→←: Select Screen ↑↓: Select Item Enter: Select +/-: Change Opt. F1: General Help F2: Previous Values F3: Optimized Defaults F4: Save & Exit ESC: Exit

起動するドライブの順序をここに指定できます。
最大8つまで(例えばUSBポートを含みます)ここに列挙できます。

Boot Configuration

Bootup NumLock State

システム起動後のNumLock機能の設定がここに提供されます。Numlockは、数字入力キーパッドの機能を制御します。

- On

NumLockが有効になっており、数字入力キーパッドが使用できます。
- Off

NumLockが無効になっており、数字入力キーパッドを使用してカーソルを制御できます。



キーボードのNumインジケータライトは、現在の起動NumLock状態を示します。
キーボードの[Num]キーは、ONとOFFの切り替えに使用できます。

Quiet Boot

POST起動情報の代わりに、起動ロゴが画面に表示されます。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| <i>Enabled</i> | 起動ロゴを表示します。 |
| <i>Disabled</i> | POST起動情報が画面に表示されます。 |

Option ROM Messages

Option ROMメッセージがPOST中に表示されるかどうかを指定します。

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| <i>Force BIOS</i> | Option ROMメッセージがPOST中に表示されます。 |
| <i>Keep Current</i> | Option ROMメッセージがPOST中に表示されません。 |

POST Errors

エラーが検出された場合にシステム起動プロセスが中断されるか、システムが停止するかを指定します。

- | | |
|-----------------|---|
| <i>Disabled</i> | そのシステム起動は中断されません。エラーは可能な限り無視されます。 |
| <i>Enabled</i> | POST中にエラーが検出された場合、起動プロセスが中断されるか、システムが停止します。 |

Remove Invalid Boot Options

システムとの接続が切断されたデバイスのUEFI起動設定を起動オプション優先リストから削除するかどうかを指定します。

- | | |
|-----------------|----------------------------------|
| <i>Disabled</i> | UEFI起動設定は、起動オプション優先リストから削除されません。 |
| <i>Enabled</i> | UEFI起動設定は、起動オプション優先リストから削除されます。 |

Boot Removable Media

USBメモリなどの取り外し可能データストレージを介しての起動がサポートされるかどうかを指定します。

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| <i>Disabled</i> | 取り外し可能データストレージ経由での起動が無効です。 |
| <i>Enabled</i> | 取り外し可能データストレージ経由での起動が有効です。 |






Virus Warning

前回のシステム起動以降の変更について、ハードディスクの起動セクターを確認します。起動セクターが明らかな理由なしに変更されている場合、適切なコンピュータウイルス検出プログラムを実行してください。

<i>Disabled</i>	起動セクターが確認されません。
<i>Enabled</i>	前回のシステム起動以降に起動セクターが変更されている場合(新しいオペレーティングシステムやウイルスの攻撃など)、警告が表示されます。警告通知は、BIOSセットアップへ移動してこのアイテムを「 <i>Confirm</i> 」に設定して変更を確認するか、この機能を無効にするまで画面に継続的に表示されます。
<i>Confirm</i>	起動セクターへの必要な変更を確定します(例、新しいオペレーティングシステム)。

Boot option priorities

現在の起動順序を表示します。

- ▶ カーソルキー  または  を使用して、起動順序を変更するデバイスを選択します。
- ▶ 選択したデバイスの優先度を上げるには、 キーを押します 選択したデバイスの優先度を下げるには、 キーを押します
- ▶ 起動順序から選択したデバイスを削除するには、 キーを押して、「*Disabled*」を選択します。1つ以上のデバイスが無効になっている場合、起動順序の最後のエントリは「*Disabled*」に設定されています。

Main	Advanced	Security	Power	Boot	Save & Exit	Event Logs
<div>Save Changes and Exit Discard Changes and Exit Save Changes and Reset Discard Changes and Reset</div> <div>Save Options Save Changes Discard Changes</div> <div>Restore Defaults Save as User Defaults Restore User Defaults</div> <div>Boot Override SATA: Optiarcd DVD RW AD-7250H SATA: WDC WD5000AAKS-07V0A0 IBA GE Slot 00C8 v1365</div> <div>Launch EFI Shell from filesystem device</div>						<div>Exit system Setup after saving the changes.</div> <div><div>→←: Select Screen</div><div>↑↓: Select Item</div><div>Enter: Select</div><div>+/-: Change Opt.</div><div>F1: General Help</div><div>F2: Previous Values</div><div>F3: Optimized Defaults</div><div>F4: Save & Exit</div><div>ESC: Exit</div></div>

メニューの現在のエントリを保存してBIOSセットアップを終了するには、「*Save Changes and Exit*」の選択後、「*Yes*」を選択します。変更されたオプションのために再起動が必要でない限り、新しい設定が有効になり、POSTが継続します。

BIOSセッアップの呼び出し以降に行われた変更、または前回の「Save Changes」機能の呼び出し以降に行われた変更を破棄するには、「Discard Changes and Exit」の選択後、「Yes」を選択します。BIOSセッアップは中断し、POSTは継続します。

メニューの現在のエントリを保存してBIOSセットアップを終了するには、「*Save Changes and Reset*」の選択後、「*Yes*」を選択します。システムが起動し、新しい設定が有効になります。

Discard Changes and Reset

BIOSセットアップの呼び出し以降に行われた変更、または前回の「Save Changes」機能の呼び出し以降に行われた変更を破棄するには、「*Discard Changes and Reset*」の選択後、「Yes」を選択します。BIOSセットアップが終了し、システムが再起動します。

Save Options

Save Changes

BIOSセットアップを終了せずに、これまでに行われた変更を保存するには、「*Save Changes*」の選択後、「Yes」を選択します。

Discard Changes

BIOSセットアップの呼び出し以降に行われた変更、または前回の「Save Changes」機能の呼び出し以降に行われた変更を破棄するときに、BIOSセットアップを終了しない場合は、「*Save Changes*」の選択後、「Yes」を選択します。

Restore Defaults

BIOSセットアップのすべてのメニューをデフォルト値にリセットするには、「*Restore Defaults*」の選択後、「Yes」を選択します。BIOS Setupにこれらの設定を残す場合、「*Save Changes and Exit*」の選択後、「Yes」を選択します。



Save as User Defaults

これまでに行われた変更をユーザーのデフォルト設定として保存するには、「*Save as User Defaults*」の選択後、「Yes」を選択します。

Restore User Defaults

BIOSセットアップのすべてのメニューをユーザーのデフォルト設定にリセットするには、「*Restore User Defaults*」の選択後、「Yes」を選択します。BIOS Setupにこれらの設定を残す場合、「*Save Changes and Exit*」の選択後、「Yes」を選択します。

Boot Override

カーソルキー  と  を使用して、オペレーティングシステムを起動するドライブを選択します。Enterキーを押して、選択したドライブからの起動プロセスを開始します。

BIOSアップデート

「Flash BIOS Update」を実行する前に、必要なファイルをインターネットからダウンロードする必要があります。



BIOSはフラッシュメモリモジュールに格納されています。Flash BIOSアップデートの実行中にエラーが発生した場合、BIOSイメージが破壊される可能性があります。そうになると「Flash Memory Recovery Update」を使ってBIOSを再作成するしかありません。「[「Flash Memory Recovery Update」, ページ 46](#)」を参照してください。これが可能でない場合、フラッシュメモリモジュールを取り替える必要があります。そうしない場合、カスタマーサービスのサービスデスクまで連絡してください。

- ▶ インターネット上で、[「http://de.fujitsu.com/support/index.html」](http://de.fujitsu.com/support/index.html)をご覧ください。
- ▶ 「MANUAL PRODUCT SELECTION」を使用してデバイスを選択するか、製品名のシリアル/ID番号を使用して「SELECT PRODUCT USING SERIAL/IDENT NO.」の下でデバイスを探してください。
- ▶ 「Drivers & Downloads」をクリックして、オペレーティングシステムを選択します。
- ▶ 「Flash BIOS」を選択します。
- ▶ Flash BIOS Update – Desk Flash Instant
WindowsでFlash BIOSアップデートするには、ファイル「Flash BIOS Update – Desk Flash Instant」をダウンロードします。
- ▶ Admin package – Compressed Flash Files
使用しているオペレーティングシステムが選択肢にない場合、オペレーティングシステムを選択し、ファイル「Admin package – Compressed Flash Files」を「USBメモリを使用してFlash BIOSアップデート」するためにダウンロードしてください。
- ▶ 安全のため、Flash BIOSアップデートを実行する前に、BIOSセットアップの設定を記録してください。
通常、Flash BIOSアップデートがBIOSセットアップの設定を破壊することはありません。

Flash BIOS update under Windows

- ▶ システムを起動し、Windowsを起動します。
- ▶ Windows Explorerを開き、「Flash BIOS Update – Desk Flash Instant」でダウンロードされたファイルを選択し、ダブルクリックしてFlash BIOSアップデートを開始します。画面上の指示に従ってください。



「Desk Flash Instant」を実行するには、管理者権限が必要です。

- ↳ Flash BIOS Updateの終了に成功したら、システムが自動的に再起動して、新しいBIOSのバージョンが起動します。

USBメモリを使用したFlash BIOSアップデート



- ▶ 起動可能なUSBメモリを用意します。



USBメモリが起動可能でない場合、アイテム「*Installation description*」の下「*Admin package – Compressed Flash Files*」の下に必要なファイルがあります。それから、アイテム「*Further information*」を選択します。指示に従ってください。



起動可能なUSBメモリが作成されると、スティック上のすべてのファイルが回復不能に削除されます。したがって、USBメモリからのすべてのファイルが、事前に別の場所にバックアップされていることを確認してください。

- ▶ 「*Admin package – Compressed Flash Files*」でダウンロードされていたZIPファイルを解凍し、ファイルとディレクトリを起動可能USBメモリのルートディレクトリにコピーします。
- ▶ システムを再起動して、画面に出力が表示されるまでお待ちください。ファンクションキー「F12」を押し、カーソルキー  または  を使用して起動可能なUSBメモリを選択します。
- ▶ 「*cd DOS*」を使用してディレクトリを変更し、コマンド「*DosFlash*」で「Flash BIOS Update」を起動して、さらなる指示に従います。
- ↳ Flash BIOS Updateの終了に成功したら、システムが自動的に再起動して、新しいBIOSのバージョンが起動します。

Flash Memory Recovery Update

- ▶ 「USBメモリを使用したFlash BIOSアップデート」で説明するように、起動可能なUSBメモリを準備します。
- ▶ システムのスイッチを切り、主電源からプラグを抜いてください。
- ▶ カバーを開き、システムボードのジャンパー/DIPスイッチを使用して「*Recovery*」を有効にします。この詳細については、システムボードの技術マニュアルを参照してください。
- ▶ システムを主電源に再度接続して、スイッチを入れます。
- ▶ 「*cd DOS*」を使用してディレクトリを変更し、コマンド「*DosFlash*」で「BIOS Recovery Update」を起動して、さらなる指示に従います。
- ▶ リカバリープロセスが終了したら、システムのスイッチを切り、主電源からプラグを抜いてください。
- ▶ USBメモリを取り外してください。
- ▶ 変更されたすべてのジャンパー/DIPスイッチを元の位置に戻します。
- ▶ システムを主電源に再度接続して、スイッチを入れます。
- ↳ システムが新しいBIOSのバージョンで起動します。
- ▶ BIOSセットアップの設定を確認してください。必要な場合、もう一度設定を構成してください。

キーワード

- オンボードデバイスの構成 25
 - システムのスイッチオン
 - ネットワーク 36
 - ウェイクアップモード 37
 - セキュリティメニュー 29
 - システムパワーオン
 - LANコントローラ 36
 - メインメニュー 11
 - 高度なメニュー 13
 - ファンの速度 25
 - の呼び出し
 - Bootメニュー 9
 - パスワード 30
 - ハードディスクユーザーパスワード 32-33
 - ユーザーパスワード 30-31
 - 時管理者パスワード 30
 - 拡張カード 27
 - 書き込み保護 31
 - スロット 27
 - USB 23
 - 日付 12
 - 時間 12
 - 終了
 - BIOSセットアップ 43
 - 詳細
 - メモリ 12
 - 説明
 - ネットワークコントローラ 12
 - ノイズレベル 23
 - セットアップ,
 - BIOSセットアップの閲覧 9
 - 電力障害, システムの反応 35
- A**
- Access 12
 - Access Level 12
 - Acoustic Management 23
 - Acoustic Mode 23
 - Active Processor Cores 19
 - Audio Configuration 25
- B**
- Bank Interleaving 21
 - BIOSアップデート 45
 - Windows 45
 - BIOSセットアップ 9
 - セキュリティ機能 29
 - システム構成 11
 - システム設定 13
 - ナビゲート 10
 - 開始 9
 - BIOS Setup
 - settings 7
 - Bootメニュー 9
 - 起動順位の設定 40
- C**
- C1E 19
 - Channel Interleaving 21
 - CPU 18
- D**
- Details
 - Firmware 11
 - Processor 12
 - Discard Changes and Exit 43
 - Display Port 21
 - DRAMプリフェッチャ 20
- E**
- Enhanced Halt State 19
 - Erase Disk 14
 - Error Logging 20
 - Event Log 38
 - Exitメニュー 43
 - External SATA Port 22
- F**
- F12, ファンクションキー 9
 - FB Location 22
 - Flash Memory Recovery Update 46
- G**
- GFX Configuration 21
 - Graphics controller 21
- H**
- Hardware Prefetcher 20
 - High Precision Event Timer の構成 26
- I**
- Integrated Graphics 21
- L**
- LAN controller 25

Legacy OpROM Support 14
Legacy USB Support 24
Limit CPUID Maximum 18

M

Mass Storage Devices 24
Memory Configuration 20
Memory Error 20

N

NumLock 40

O

OnChip SATA Channel 22
OnChip SATA Type 22

P

Parallel Port 26
Parallel Port Configuration 26
Password
 User Password on Boot 31
PCI 27
 ASPM Support 16
 PCI バリティ エラー 16
 PCI ROM Priority 16
 PCI system errors 16
PSS Support 19
PXE Option ROM 14

R

Recovery Update 46

S

SATAハードディスクの消去 14
SATAポート 22

SATA Configuration 22
SATA PORT n 22
SATA PORT Status 22
SATA ports 22
Save Changes and Exit 43
Storage Option ROM 14
Super IO Configuration 26
Support PSS 19
SVM Mode 19
SW Prefetcher 20
System Date/System Time 12
System Information 11
System Language 12
System Monitoring 24

T

Trusted Computing 17
Trusted Platform Module 17
 Pending TPM operation 17
 TPM State 17
 TPM Status Information 18
 TPM Support 17

U

UMA Frame Buffer Size 21
USB
 USB keyboard 37
USBメモリを使用した
 フFlash BIOSアップデート 46

W

Wake Up Timer 36
WHEA Konfiguration
 Windows Hardware Error Architecture 18